

第1回定例議会

委員会審査

報告された案件

いずれも報告どおり了承されました

○専決処分報告（交通事故による公用車の損害賠償）

○専決処分の報告（排水管漏水事故に伴う車両の損害賠償）

審議された案件

提案どおり可決されました

○大川市議会委員会条例の一部改正

いずれも提案どおり同意されました

○大川市教育長の選任

○大川市固定資産評価審査委員会委員の選任（2件）

○人権擁護委員候補者の推せん（2件）

（5ページの人事案件欄をご覧ください）



総務委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

大川市行政手続条例の一部改正

国民の権利利益の保護の充実に目的として、行政手続法の一部が改正されたことに伴い、市の機関が行う処分及び行政指導について行政手続法の改正趣旨を踏まえ改正するものです。

大川市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会制度が改革されるため所要の改正を行うものです。

大川市市長、副市長給与等に関する条例の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育長が特別職に位置付けされるため、改正するものです。

大川市職員の給与に関する条例の一部改正

職員の持ち家に係る住居手当を廃止するため、一般職員の給与を改正するものです。

廃止の理由と廃止による削減額

○廃止の理由は、国は既に廃止しており、福岡県や近隣市においても大多数が27年度から廃止することになっている。また、対象となる職員は全体で約100名、削減額は約300万円である。

26年度一般会計補正予算（第6号）

1億9千77万3千円を増額
予算総額14億7千594万円

国の経済対策に伴う緊急支援も併せて活用し、歳入歳出予算及び繰越明許費を補正するものです。

（補正の主なもの）

○総務費 職員の退職勧奨等に伴う退職手当4千818万9千円、
地方版総合戦略策定に要する経費785万3千円

○民生費 生活支援バス運行事業委託料1千99万4千円

問 プレミアム商品券発行事業補助金のプレミアム率は。

○答 20パーセントで、今回発行される商品券は福岡県内すべて同率の20パーセントの予定である。

26年度一般会計補正予算（追加提案（第7号））

歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算をそれぞれ2千800万円増額し、予算総額は14億394万円です。生活保護費の医療扶助費において当初の見込みを大きく上回る高額な医療費の請求があったため、補正するものです。

文教厚生委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

大川市教育長の勤務時間、休日及び休暇等並びに職務専念義務の特例に関する条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育長が一般職から常勤の特別職になるため、必要な事項を条例で定めるものです。

筑後川総合運動公園市民プールの設置及び管理に関する条例を廃止する条例

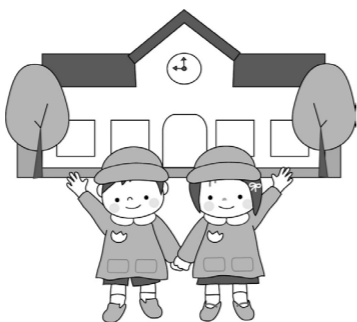
施設利用者の減少、施設の老朽化に伴い大規模改修が必要なこと、管理運営費の赤字額の増大など、今後においても費用対効果を望めないことから、筑後川総合運動公園市民プールを廃止するものです。

意見 物を作る時には最後に崩すことまで、また、その後の活用策について考えておくことが重要である。

○答 プールの跡地利用について、当面は消防水利として考えており、その後は周辺施設と併せて有効活用を検討していく。

大川市子どものための教育・保育給付に係る保育料等に関する条例の制定

子ども・子育て支援法に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る保育料等に関する事項を条例で定めるもので、幼稚園児の保育料については、国の基準から概ね7割軽減することにより、私立は5割から7割程度安



くなるが、公立は所得が多い世帯の階層では今より若干高くなる。また、保育園児の保育料は、今までは保育料の総額全体で国の基準から2割程度減額した水準であったが、これを国の基準から概ね7割軽減するものです。

○意見 今回の保育料の7割軽減は、人口減対策のひとつの案であると思いが、それだけでは人口減に歯止めをかけることはできないのではないかと。今後は、「子育てするなら大川市」となれるように、担当課だけではなく市役所全体で連携して進めていただきたい。

○要望 保育料の7割軽減はすばらしい思い切った取り組みであり期待している。だからこそ、持続可能な制度であってほしい。そのために2年後ぐらいまでには検証の場を設けていただきたい。

○農林水産業費 集落営農の法人化のための農業経営の法人化等支援事業費補助金150万円

○商工費 プレミアム商品券発行事業補助金6千323万7千円、大川家具展示会補助金500万円、春の大川木工まつり補助金200万円、インテリア産業強化支援事業補助金900万円、シテイセールス推進事業委託料4千300万円

問 地方版総合戦略策定支援業務委託料の内容は。

○答 地方において策定するものとして、地方人口ビジョンと地方版総合戦略がある。地方人口ビジョンは、人口の現状分析と将来展望であり、地方版総合戦略は、各部署において実施する事業をあげることになる。ここに計上している委託料は、主に地方人口ビジョンの策定委託料である。

問 地方版総合戦略の策定期期と策定会議の委員は。

○答 今年11月を目途に策定したい。委員には業界関係者や地域の代表者、専門性を持つ者、労働界など15名程度を考えている。

大川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

高い意識で分別を行っている世帯や高齢者世帯等への対応、ごみ減量化の促進を目的として、容量の小さい指定袋を導入するため所用の改正を行うものです。

問 大川市のゴミ袋が他の市町村と比べて破れやすい理由は。

○答 焼却場でのゴミのかくはんをよくするためである。

○意見 環境を守ることは、大川のイメージアップにつながり、大川市全体でさまざまな取り組みをしていけば、ゴミの減量に対する市民の意識も高くなるのではないかと。

大川市介護保険条例の一部改正

介護保険総合計画の見直しに伴い、27年度から介護保険料が改正されること及び介護保険法の改正により低所得者の保険料軽減措置が行われることなどに伴う改正です。